



岡野クリニック にゅーす

医療法人社団 貴昌会

岡野クリニック

〒343-0808

越谷市赤山本町7-2

☎048-969-0223 FAX048-969-0224

特集コーナー 「生きる」を支える在宅医療

先月、中央市民会館にて行われた市民講座は多くの市民のご参加のもと開催されました。第一部では訪問看護師の立場から「緩和ケア」は終末期の医療ではなく、病気を発症した時から、身体的、精神的、社会的な様々な問題に寄り添ってくれる医療であることが語られ、実際に訪問の現場のスライドを交えながらの説明には胸を熱くするものがありました。

第二部では医師の立場から、在宅での治療、痛みを緩和するために使用する薬、在宅診療医不足の現実、市立病院、大病院の緩和ケアチームの取り組みについてなど、具体的な話を聞くことができました。在宅患者に対して、かかりつけ医を中心に医療と介護が連携して家族をも支えていく、という姿勢に心強さを感じると共に、訪問診療医の増員を願うばかりです。

訪問看護日誌



「父にちよつと強く注意したら、何も言わなくなってしまう」娘さんからの相談です。高齢者がちよつとしたことで、ふさがちになってしまうことはよくあることです。徐々に体力が落ち、友人も亡くなってゆき、人生は先細りだと

自覚することばかりです。また、歩禁など、プライドが少しずつ失われて行くように感じるのでしょうか。そこに「また失敗したのね」といった家族の言葉や視線は追い打ちをかけるようになってしまいます。特に叱咤激励はつらいものです。「思ったようにできないのはつらいだろうな」と高齢者の気持ちに共感し、気楽にやろうという雰囲気作りが大切です。

ひげトク(つ)む



どんなお正月を過ごされましたか。昨年ほど、災害に明け暮れた年はなかったのではないのでしょうか。復興が進んでいるとはいえ、放射能対策など問題は山積です。医療業界においても、在宅医療の医師不足など様々な問題を抱えています。それらの問題と真摯に向き合い、今後も患者さんが望む医療に向かって邁進していきま

4階リハビリ・今月のあて ケガの後遺症

骨折やねんざ、打撲などのケガには適切な治療を受けることは勿論のことですが、症状により組織の損傷も度合いも様々です。痛みが軽減しても一定期間きちんとリハビリを行うことが必要です。このリハビリは組織の修復を促すとともに、関節

や筋肉などを正常に動かす機能回復のためのものです。ケガした部位の痛みや、動かすことでの痛みが続く、冬の寒さや梅雨の湿度での痛みや冷え、違和感などが残る場合は上手なりハビリができていない可能性があります。ケガの後遺症のリハビリは、疼痛緩和や機能回復のための手技療法や電気療法、実際に関節や筋肉を動かす運動療法など総合的に行うことが必要です。

すたっふ便



六日は「小寒」、寒の入り」とも呼ばれ、この日から二十一日「大寒」までの十五日間が最も寒い時期といわれています。寒中見舞いはこの小寒の頃に出し始めるのが慣例です。また、童謡の「大寒小寒山から小僧が飛んできた」と歌われるこの歌はこの頃の厳しい寒さを唄ったモノといわれています。

越谷市助成の高齢者インフルエンザ予防接種は十五日迄です。

一月の予定一睦月

休診日 一日 二日 三日

八日 十五日

二十二日 二十九日

※二十日(金)牧野医師はお休みです。

※二十一日(土)午前九時半から午後一時半迄は國方医師、午後一時半から二時半迄は院長が診察します。

